

令和6（2024）年度 日本体育大学 入学式（学長式辞）

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。この良き春の日に晴れてご入学の日を迎えられた新入生の皆さんはもとより、手塩にかけて大切に育ててこられた保護者ならびにご家族の皆様におかれましては、喜びもひとしおのこととご推察申し上げます。日本体育大学の教職員を代表しまして、皆さんを歓迎するとともに、心よりお祝い申し上げます。

はじめに、今年の元日に発生しました能登半島を中心とした大規模な地震で、お亡くなりになった皆様に哀悼の意を捧げるとともに、被災され避難を余儀なくされている皆様に心よりお見舞い申し上げます。

さて、皆さんが晴れて入学した日本体育大学は、今から**133**年前の**1891**年に日高藤吉郎先生によって設立された体育会がその始まりです。**133**年前と言えば明治時代の中頃で、まさに近代合理主義思想が社会に浸透し、また富国強兵政策が推進されていた時期でありますから、体育スポーツを通した「からだ」作りは非常に重要な命題でもありました。1903年には女子部も結成されました。国民の「からだ」の育成に対して、体育スポーツの果たす役割の重要性が意識されてきたわけです。このように本学の始まりは、身体に対して体育スポーツを用いた教育を実践したり、学んだりする教育機関でありました。

しかし、時代が下るにつれて、体育スポーツは身体の教育に対してだけのツールではなくなり、人間形成はもとより、健康や医療、あるいは国際協力や経済活動に対しても強力な力を持つものと認識されるようになりました。つまり、体育スポーツは、最初は身体を支えるためのパイプリーヤーであったわけですが、いまや主役となり、体育スポーツの果たす役割が注目されるようになりました。このように見ていくと、現代社会においては、体育スポーツの力は計り知れないものがあります。そして日本体育大学は、この体育スポーツを通して学問を学び、社会性を身に付け、さらには人間力を高めていくことのできる大学です。

また、こうした主役に躍り出た体育スポーツの学問領域や実技科目において、本学はその大半を守備範囲に置くことができる大学でもあります。なぜなら、日本体育大学は体育スポーツの専門大学として、日本で最も多くの教授陣が在籍している大学であるからです。実技や学問の専門性の異なる専任教員を日本で一番多く有しているということは、体育スポーツの学びがより広範になるとともに、より深い学びができます。ぜひ、安心して本学で学んでください。日本体育大学は皆さんの期待に応えることができるはずです。

次に、皆さんの大学生活をより充実させるために、学長の私から皆さんにお伝えしておきたいことが3つあります。一つ目は、積極的に人との関わりを持って、友人を作り、交流を広げてもらいたいということです。大学時代に創り上げられる人間関係

は、固いきずなで結ばれます。また、出身地の異なる人々が集っていますので、地理的に見て非常に広範囲にわたって友人関係を築くことが出来る可能性があります。本学は日本全国、あるいは国を超えて学生が集まっていますので、人種、国籍、性別、年齢、障がいの有無を超えた、多様な価値観や考え方と触れあうことのできる環境にあります。また交換留学生として海外に足を運ぶことも価値観を変えることのできる良い機会になります。多くの友人を作るということは、多様な価値観に触れるということでもあり、また一生の財産にもなります。是非とも積極的に多くの友人を作ってください、自分自身の世界を広げていただければと思います。

二つ目は、2024年はオリンピックイヤーです。日本体育大学がオリンピックと共に歩んできた歴史はご存じの通りですが、やはり日体大に籍があるからには、何らかの形でスポーツと触れ合い、できることなら学友会のクラブで、全力でスポーツに打ち込んだり、さすがにそこまではできないというのであれば、できる範囲でスポーツ活動を支える側の人間として協力することをお勧めしたいと思います。自分自身が直接スポーツ活動に参加できないとしても、その世界に関わり、その世界を少しでも理解することができれば、それは非常に素晴らしいことになるはずです。スポーツへの関わり方は多様です。大学時代にぜひ密度の濃い関わり方を経験してみてください。

三つ目に、授業には積極的に出席してください。授業は新しい出会いの場でもあります。先ほどお話したように、本学には非常に多くの教員が教鞭をとっており、その専門性も異なっています。つまり、今まで知らなかった世界と出会う可能性が多くあるということです。そのことによって、人生が大きく変わる可能性を持つのが大学です。例えば、本学の大学院生の多くは、大学入学時に研究者になるとか、大学の教員になるとか、そのような道を考えていた人は稀であります。ところが、大学時代のどこかの時点で大学院に進学したいと思い、そこからしっかり勉強することで、その後の人生が大きく変わった先輩たちも多くいます。大学の授業だけではありませんが、皆さんの人生を大きく変える出来事は、大学の中で起こることも多くありますので、大学の授業では特に積極的に取り組んでください。

人生100年時代と言われるようになりましたが、その中で大学に在籍する期間はほんの一瞬の時間です。しかし、この大学生という時間は、間違いなく皆さんの人生を彩らせ、方向付ける重要な期間となるでしょう。自分自身の目標をしっかりと持って、一歩ずつ進んでいくことで、夢の実現に近づかずにはありません。学生生活の中で、今までに出会うことのなかった世界と繋がりを持ち、一回りも二回りも成長することを期待しています。日体大は、皆さんのこれからの人生を変えることのできる大学です。

最後になりますが、本学での学生生活が皆さんにとって、実り多く、充実したものになるように、お祈りし、私の式辞といたします。

令和6年4月3日
日本体育大学 学長 石井隆憲